

《**当事者版**》

もうり たつお
毛利 龍夫

春ですね。自宅近くでおそらく鶯らしき鳥が鳴きはじめています。鶯らしきというのはこの鳥は毎年初めは「ほ一ほけきよ」とは鳴かないからです。何となく最初は非常に不器用でやたらにびびびびと鳴いているのですが何度も繰り返し一生懸命練習しているうちに形ができてきて最終的には「ほ一ほけきよ」と鳴きはじめ、あー鶯だったのかとわかるのです。そんな鶯が大好きです。そしてセンター玄関前の大桜が一斉に咲き始めると本格的に春が来たことが分かり毎年作業所では新しく入所される方をお迎えすることになります。今年は4名の方をお迎えします。4月から作業所の一員です。新宿福作の事を教えてあげてください、どうかよろしくお願い致します。

《**一般版**》

やっとな春が来ましたね。今年寒い冬でした。・・・けれども自宅では石油ストーブを焚いているのですが、毎年その冬に使用する18リットル入り灯油タンクの本数を数えてみるとほぼ同じなのはほんとうに不思議です。よく考えてみると毎年寒い寒いと言っているのは単にあまねく冬といったものが寒いことを言っているにすぎないのかもしれない。冬の最中を過ごしているとなかなか自分のいる状況が分かりません。そして寒さの勢力が弱まってくる春先と思うのですが、毎週2本ずつ買っていた灯油が1本しかいらなくなりついにはあれほど頼りにしていたストーブが何となく疎ましく感じられるようになった頃、ひどく寒かったと思われた冬が結局大卒で例年並みの寒さであったことを再認識するわけです。昨年のかわたれ4月号で自分の書いたところを読み返すとやはり非常に強かった風の事と雪が降ったことが書かれておりました。私たちは同じことを毎年繰り返して体験しているのですね。それなのに毎年それを初めて体験するかのように感じる。・・・そんなことを考えているうちに日差しが急に春めいてきてセンター玄関前の大桜の開花が気になる時期になりました。これを書いているのが3月末近くですから、すでに咲きかけている時分ですが来週には一斉に咲き始めることでしょう。

新宿福作は新年度に4名の方をお迎えすることになりました。戸田夏航様、柳英樹様、八杉優樹様、和田昌明様です。新たに利用される方をお迎えすると作業所の中に新しい風が吹きわたってゆくような感じを受けます。入所される方をお迎えすることによって、今までとはまた一味違った人間関係が生まれ、新しい生活が始まります。皆さん、福作に慣れるまでの間どうか様々なことについて伝えてあげてください。どうぞよろしくお願いいたします。

2014年度の事業計画書を作成いたしましたので少し触れます。2013年度の活動の中で福作のゆるキャラ「はなこ」を使ったオリジナルグッズを作製しました。(Tシャツ、ワッペン、タオルハンカチ)今年度は「はなこ」を使ったかばんを作りたいとおもっています。試作品を沢山作りました。これを作りたいと思う試作が何点もあります。紺や赤などの単色地の布製バックにワッペンをレイアウトしたものが非常に秀逸だと思っています。どことなく横浜モダン風な感じで新宿なのにハマ(港町モダン)ふうで非常に気に入っています。今年度はさらに商品展開を行ない一層販売に力を注ぐことができれば、と思っています。そしてホームページを刷新いたします。こういう文言を読んで、そういうことを聞いてから随分になるけれどまだだったの!・・・と思われる方、たいへん申し訳ありませんでした、どうかご容赦下さい。今度こそは本当です、時間をかけて作りしたのでどうか乞うご期待ください。高田馬場福祉作業所の荒木所長が「まりそる」最新号に書いておられましたが、さっ今デジタル化が進み中学・高校でもパソコンは1人1台の時代に入ったそうですね。これは確かに凄いいことだと思います。これに携帯だのスマホだのが加わって圧倒的な電腦社会が加速的に身近になっている今、作業所にとってもホームページの充実化は重要な課題でした。何かを新たに探したいときにはパソコンのサイトを検索するためにキーワードでの検索を行なうことがごく普通のこととなりました。新宿福作の事を知っていただき、今後展開する予定のオリジナルグッズ、自主製品、そして私どもの顔でもあるベーカリーの新商品等をご紹介するためにも強力な助っ人となる感じています。

保護者会や全体朝礼でも申し上げましたが、毛利は法人内での転勤の為板橋区の事業所へ異動になります。皆様にお世話になってから5年間、大変充実した時間を過ごさせていただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。重ねて皆様のご多幸をお祈り申し上げます。どうぞお元気で過ごしてください。またお会いしましょう。